



板持 文子 議員

未来に希望あるまちづくりになっているか

問 人口増に向けての具体的な目標計画はあるのか

答 日本の総人口が減少する中、減少幅を緩やかにするための施策に取り組んでいます

第2次高島市総合計画後期基本計画や公共施設再編計画では、人口減少を想定し、縮小型のまちづくりとなっているようだが、明るい未来を描けているのか問う。

問 人口増に向けての具体的な目標計画はあるか。

答 政策部長

日本の総人口が減少の一途をたどっていく中で、本市の人口を増加にもっていくべきというご意見は現実的ではないものと捉えており、総人口が減少することを前提としな

がらも、人口の社会増を実現することで、減少幅を少しでも緩やかにするため、各種の施策に取り組んでいます。

問 長野県、山梨県、群馬県では人口が増加しているが、諦めずに人口増加を目指してはどうか。

答 政策部長

2050年には3万人を下回る推計であり、具体的な根拠を同時に示していかなければ意味がないものとなり、日本全体の人口が減少する中、人口減少を現実のこととして

問 人口増に向けての具体的な目標計画はあるのか

受け止め、例えば、3万人を3万5000人にするための対策に取り組んでおり、その結果として、転出超過の状況も改善しつつあります。

問 公共施設の集約化、複合化により、地域コミュニティの核となる施設、稼げるにぎわいゾーンを創出するための計画はあるのか。

答 総務部長

具体的な計画はなく、公共施設の再編にあたっては、国库補助金返還の問題や施設利用者等との合意形成など、施

設ことの様々な問題を解決して、初めて具体化できるものと認識しています。

問 待機児童がいる中、高島子ども園がなくなると、さらに通えない児童が増える予想されるがどうか。

答 子ども未来部長

令和5年4月1日現在の待機児童数は5人でした。こども園や保育園には、学区制のような通園地域の取り決めはなく、市内どこの園でも入っていただけです。仮に高島こども園がおおよそ5年後に閉園するとしても、市全体の受け入れ数からすれば問題はな

